



ワスレバ アイノウチニ ゼネラル

原田芳雄
大谷直子

磨赤児
樹木希林

大楠道代
藤田敏八

監督 鈴木清順

1980年、東京タワーの足下に銀色のドーム型テントが現れた。今や伝説として語られ始めているこの移動映画館、シネマ・プラセットの初製作、上映作品が『ツイゴインルワイゼン』である。噂が噂を呼び、動員観客数は単館上映としては異例の9万6千人を記録した。

内田百閒の「サラサテの盤」ほかいくつかの短編小説を、生と死、時間と空間、現実と幻想のなかに彷徨う物語として田中陽造が見事に脚色。士官学校教授の青地（藤田敏八）と無頼の友人・中砂（原田芳雄）を中心に、青地の妻周子（大楠道代）、中砂の妻と後妻（大谷直子の二役）をめぐる幻想譚として描く。破天荒な中砂に翻弄される青地はいつしか現実と幻のなかに惑い、妻周子が青地に誘惑されはだされているという疑念に取り憑かれる。そんな矢先、中砂は「とりかえっこ」を提案する。なにをととりかえるのか……。そして中砂の死後もなお青地は見えない影に弄ばれる。奇妙な物語のまにまにサラサテの「ツイゴインルワイゼン」の音色が物悲しく響き、音色のなかに一瞬、微かな声が聞こえてくるが、何を呟いているのかはわからない。

わかし、男のかたわらには
そこはかとな
女の匂いがあった。
男にはいる気があった。

ツイゴインルワイゼン

日本アカデミー賞 最優秀作品賞、最優秀監督賞、最優秀助演女優賞（大楠道代）、最優秀美術賞、ブルーリボン賞、最優秀監督賞、特別賞（ツイゴインルワイゼン）の映画製作・上映活動、ベルリン映画祭、審査員特別賞（銀熊賞）受賞、キネマ旬報1980年代ベストテン第1位

出演／原田芳雄、大谷直子、藤田敏八、大楠道代、真喜志ささ子、磨赤児、樹木希林、監督／鈴木清順、原作／内田百閒、脚本／田中陽造、撮影／永塚一栄、照明／大西美津男、美術／木村威夫、多田佳人、録音／岩田広一、音楽／河内紀、編集／神谷信武、記録／内田純子、スチール／荒木経惟、製作／荒戸源次郎
1980年／シネマ・プラセット／144分／スタンダード

年をとると、映画のストーリーなんか、端から忘れてしまふ。けれど、これからもっと采かっていっても、私の中で決して消えないだろうと思われるのは、白茶けた切り通しを黙然としく藤田敏八の猫背の後ろ姿と、三人の盲目の門付けたらの声である。可笑しくて哀しくて、それそれ何の意味もなくて――

（久世光彦／演出家作筆）

美しいものを見たという記憶は、体の奥底で生き続ける。もうそくが消えた後、闇が一層闇であるように。美しさは、さえずりと体に残る。それが悪くてきれいであれば、なおのこと。清順という美しい刺「ツイゴインルワイゼン」という毒のひかり。映画にしかできないことが、確かにここににある。

（夏石鈴子／作筆）

『ツイゴインルワイゼン』を見に行つたのは高校生のとき。見たことのない映像にただ釘付けになりました。ひとこと、たとえば圧倒的なビジュアルの素晴らしさ。そしてとてもエロティック。その綺麗さ、カッコよさ。すべてにおいて完璧な映画、完璧な日本映画だと思つています。

（丸山敬太／ファッションデザイナー）

ああいう事を今の役者さん達がやるのは、もしかしたらムズカシイが、成しなないかになつてしまふかもしれないと思ひました。そして、今あいう物語が生まれるか？と言つたら、それもどうかはわからないと思ひました。そして、この映画は今の僕等が見ると、とても新しい感覚へ持つていかれる映画だと思ひました。

（浅野忠信／俳優）



鈴木清順監督
DEEP SEIJUN

『ツイゴインルワイゼン』
『陽炎座』

G W
ショロイド!

蘇る伝説
絢爛華麗な大ロマン、
完全ニュープリント
一挙公開!

『ツイゴインルワイゼン』4月28日（土）より
『陽炎座』5月5日（土）より
『夢』5月12日（土）より

梅田スカイビル タワーイースト3F 06(6440)5930
シネ・リーブル梅田
空中庭園 梅田スカイビル
タワーイースト3F
シネ・リーブル梅田
地下歩道
JR梅田南口駅
5階出口
JR大塚駅
即座席梅田駅

特別鑑賞券発売中

3作品特別鑑賞券3冊巻3,000円（税込）
各作品特別鑑賞券1,500円（税込）
当日一般1,800円、学生1,500円

☆劇場窓口で各作品特別鑑賞券をお買い上げの方にポストカードをお渡しするサービスをご用意しております。お買い上げの方にポストカードプレゼント



『陽炎座』

『夢』

出演 出演
松田優作 沢田研二
大楠道代 穂谷友子
加賀まりこ 宮崎萬純
楠田枝里子 広田玲央名
大友柳太朗 原田芳雄
原田芳雄 大楠道代
中村轟雄 坂東玉三郎

配給リトル・モア

http://www.deepseijun.com

鈴木清順プロダクション「TWILE TO KILL」般のスタイル「2000年 初夏シネリーブル梅田にてリターン」
『殺しの烙印』すべてが狂つてゐる「探偵事務所23」くたばれ悪党どもは！
鈴木清順日活時代の作品（ニュープリントを含む）一挙公開。